



# 一般質問

一般質問とは、議員が市の行政事務全般について市の見解を問うものです。

令和6年9月2日から9月5日までの4日間にわたって、17人の議員が合計35項目の質問を行いました。

- ◆質問を届けた順に掲載しています。
- ◆掲載項目などは質問を行った議員がそれぞれの判断で選択しています。
- ◆質問内容の詳細については、宗像市議会ホームページの録画映像もしくは12月上旬に公開予定の議事録をご覧ください。



**豪雨水害について**  
宗像志政クラブ／安部 芳英



**問** 田久交差点付近の冠水被害の早期対策を求める市民の声を、市長はどのように受け止めているか。また、田久交差点の被害に対する請願を採択してからの経過はどうか。現在も同じような状況が起きていることをどのように考えているか。

**答** 令和5年度は、防災ライブカメラや浸水探知センサーの設置によるソフト事業を実施した。今年度は抜本的な雨水対策として、フラップゲートの設計などに取り組んでいる。今回の浸水を受けて、改めて対策をより充実



冠水した田久交差点の様子

させ加速させる必要があると見え、新たに設置した安全安心まちづくり基金を活用し、道路冠水システムを導入し、浸水被害を受けた世帯や事業者に対する災害見舞金も創設した。また、田久地区の浸水被害軽減の早期実現に向け、ハード対策の設計を前倒ししたい。



**むなかたPayの可能性について**  
宗像志政クラブ／石田 和代志



**問** 今後の商品券事業の見直しはどのように考えているのか。

**答** 市と一緒に財源を補助している福岡県の動向も注視しながら、継続の方向で検討する。

**問** むなかたPayアプリは、さまざまなものとも付けすることにより、ますます便利なものとなる可能性を秘めていると考えますが、どのような取り組みが考えられるか。



むなかたPayアプリのアイコン

**答** むなかたPayアプリのダウンロード数は、約1万8000件で、加盟店舗数は462店舗である。これは、令和3年度から積み上げてきた資産だと考えており、利用者への何らかの情報の発信など、本アプリの仕組みを活用した展開を検討している。



**産後ドゥーラ育成に取り組む支援を**  
公明党／岡本 陽子



**問** 産後ドゥーラとは、心身が不安定な状態に陥りやすい産後の母親に、掃除や赤ちゃんの世話など幅広いサポートを提供する存在である。これらは、令和3年度から積み上げてきた資産の必要性について本市の考えを伺う。

**答** 産後ドゥーラに限らず、母子健康サービスを提供する担い手の育成、確保に努めることが必要と考える。

**問** 産後ドゥーラ認定のためには全7時間の養成講座を受け、試験・面談に合格する必要がある。受講料が約40万円と高額なため、受講料の半額補助を行う必要がある。



いる自治体もあるが、本市でも補助できないか。  
**答** 産後ドゥーラの位置付けについて考え方を整理する必要がある。現時点での補助実施は考えていない。

**そのほかの質問**  
市立小中学校・義務教育学校の授業時間と夏休み期間の見直しを



**空き家などの対策と現状**  
宗像志政クラブ／小林 栄二



**問** 空き家の解体助成の現状は。  
**答** 昨年度は補助金を20件交付した。今年度から大島、地島、玄海地区など市街地調整区域の中で、空き家が増加している地区を重点区域と定め、補助金を最大30万円から60万円に拡充した。

神湊交差点とターミナルをつなぐ道路沿いの活性化の今後について  
**問** 神湊地区での地区計画提案に関する地域への支援策は。  
**答** 昨年度から神湊地区では地区計画提案に向けて協議が進んでいる。



**病児保育迎えサービスについて**  
宗像志政クラブ／伊達 正信



**問** 病児保育室めばえでは、通常生後6か月から小学校6年生までの子どもを預けることができるが、病児保育お迎えサービスの利用者を未就学児に限定した理由は。

**答** 未就学児のほうが小学生と比べて利用が多いこと、発熱後の急変のリスクが高いため、



速やかな受診が望ましいことなどが理由である。今後、小学生までの拡大を検討する。

### 保育所に看護師の配置を

**問** 乳幼児期は特に体調の変化が大きく、その前兆を見逃さない仕組みが必要と考える。保育所などへの看護師配置が効果的であると考えるが、市の見解は。

**答** 予算や人材確保、1人配置の専門職として働くための環境整備などの課題はあるが、国は推進する方向であり、市としても国の動向を注視したい。



**中山間地域の農業支援**  
未来むなかた／北崎 正則



**問** 中山間地域の農業に対する支援の現状と課題は。

**答** 交付金の交付や防草シートなどの購入に対する補助を行っている。課題はほかの地域より生産条件が不利で、農業者の減少や高齢化によって耕作放棄地化が進むことである。



と育成の課題は。  
**答** 初期投資の負担や資材高騰、農地の確保が難しいことなどがある。

### 災害時のトイレカーの利活用は

**問** 期待される効果と課題は。

**答** 避難所に運び込むため、衛生面での向上が期待できる。  
**問** 平時ではどのような活用が考えられるか。  
**答** 総合防災訓練やイベントでの活用、地域の防災講座でのPRなどを考えている。  
**その他の質問**  
・歴史文化の保存と活用



**公園・道路の管理について**  
日本維新の会／岩岡 良



**問** 公園を囲う植栽の高さの基準が公式に設けられておらず、子どもや女性では公園の外から中が見えない現状がある。高さの基準を低く設定すれば、剪定頻度を下げて植栽管理に係る予算を削減でき、その予算で公園内の草刈り頻度を上げられるのでは。

**答** 今年度から実施している植栽に関する調査研究の中で、指摘の内容を協議する。



植栽によって中が見えない公園

**問** 公園内の街灯が樹木に覆われ、公園内を照らすことができていない箇所が見られる。街灯の設計も含めた対応が必要では。

**答** 移植や照明の移動など総合的に検討する。

**問** 地域を跨ぐ主要道路が暗く、通勤通学に危険な場所がある。以前の質問時、市が街灯の設置も含めて検討するとあったが、現状は改善されていない。再度街灯の設置を求める。再協議を検討する。



**部活動地域移行の現状と課題は**  
未来保守クラブ／森田 卓也



**問** 部活動地域移行の今後のスケジュールは。

**答** 段階的に地域移行を進め、休日の学校部活動は令和8年度に、平日の学校部活動は令和9年9月に地域クラブ活動へ移行を完了する予定である。

**問** 部活動地域移行を進める上での課題は。  
**答** 活動場所の確保、活動場所を集約することと起こる中学生の送迎や道具の移動、指導者の確保が課題である。  
**問** 休日の活動場所確保についての対策は。  
**答** スポーツ協会や競技団体と調整の上、学校開放の仕組みの中で、



地域クラブが休日中に学校施設を活用できるように運用を改めたい。  
**問** 子どもたちの移動についての対策は。  
**答** 送迎バスの運行を検討している。  
**問** 指導者の確保についての対策は。  
**答** スポーツ協会など関係団体と連携を取り、確保に努めたい。

(※) 消費者庁、文科科学省、厚生労働省、経済産業省、環境省  
(※2) 子どもの頃から本格的に文化芸術に触れることが重要という考えの下、小学校4年生が、出前授業の後に宗像ユリックスハーモニホールで九州管楽合奏団演奏会を鑑賞する事業



### 東郷駅を中心とした東郷地区活性化を 宗像志政クラブ／吉田 剛



**問** 平井地区を駅前一等地の高級住宅街として開発できないか。  
**答** 利便性が高く、居住場所としてのポテンシャルは高いと考える。  
**問** 三倉地区では祭りを通じて新旧住民が交流している。旧地再生のモデルにできないか。  
**答** 新旧住民の交流は旧地再生の観点からも非常に重要であり、地域行事継続のための必要な支援を検討したい。



### 田熊地区の浸水対策は 止水板設置の補助などを検討できないか。

**問** 県道畦町村山田線の道路新設を機会に、村山田地区の道路周辺に開発を誘導しては。  
**答** 都市計画で新開発を抑制している地域だが、今後の情勢を見ながら、次期都市計画マスタープランの中で検討したい。



### 香書による健康被害を防ぐ対策を ふくおか市民政治ネットワーキング／箕井 香葉枝



近年、衣類の柔軟剤や合成洗剤、消臭剤、抗菌剤などに含まれる人工の香りにより、頭痛や吐き気などの健康被害を受けている人が増えている。  
**問** 5首庁(※1)の連名で作成された香りへの配慮を啓発するポスターを公共施設や学校に掲示し、啓発する必要があると考えるが。  
**答** 啓発、周知に望ましい形を検討する。



5首庁の連名で作成したポスター



### 文化芸術のまちづくりの推進を 宗像志政クラブ／石松 修



**問** 宗像市文化芸術のまちづくり10年ビジョンの今後の展望は。  
**答** eスポーツなど以前では想定できなかったコンテンツへの柔軟な対応や中学校部活動の地域移行への支援などに加え、「子育て世代に選ばれるまち」への取り組みを文化芸術の拠点である宗像ユリックスとともに推進する。

**問** 中学校文化部の地域移行の状況は。  
**答** 中学校音楽室で行う市主催の吹奏楽地域クラブの立ち上げを準備している。  
**問** 小学4年生音楽鑑賞事業(※2)の実施の検討は。  
**答** 再開に向けて宗像市文化・芸術活動審議会で審議中のアクシヨンプランに記載した。中村研一、琢二兄弟の作品収集を積極的に進められないか。  
**答** 所有者から相談があれば、作品の活用方法や管理経費を考慮しつつ、判断したい。



### 旧玄海町の市街化調整区域について 日本共産党／川内 亮



離島を除く旧玄海町全域が市街化調整区域の指定を受けてから10年が経過した。住民からは「新しい家が建てられない」「お店ができない」「地域の衰退の大きな要因になっている」などの意見が寄せられている。市はどのように評価しているか。  
**答** 市街化調整区域内の集落維持や産業振興に向けた施策を展開していく必要があると考えている。住民との対話を重ねながら、地域の実情に応じた対応を検討していきたい。

利用し、地区計画を策定すれば、市街化調整区域内でも住宅などの建設が可能となるが、制度の周知は。  
**答** 過去に岬地区、池野地区でルックルック講座を開催し、説明を行った。今後も地域への都市計画提案制度の周知と活用支援を積極的に進めていきたい。



### 高齢者の見守りについて 宗像志政クラブ／木藤 裕司



**問** 市の高齢者の見守り体制の現状は。  
**答** 民生委員による見守り、ごみ収集(ふれあい収集)による見守り、緊急通報装置の設置による見守り、介護サービスによる見守り、認知症高齢者などに貸与する携帯端末機的位置検索サービスによる見守り、民間事業者との協定による見守り、地域包括支援センターでの相談対応による見守りなどを実施している。

支援する関係者との協力体制は。  
**答** 全員に個別対応することは難しく、まずは自分の身は自分で守る自助に加え、地域で支えあう共助の取り組みが必要であり、さらに可能な限り多くの関係者の支えにより二重三重で体制を整えることが必要だと考える。

**問** 避難行動要支援者の支援について  
**問** 避難行動要支援者の支援について



### これまでの質問を振り返って 宗像志政クラブ／井浦 潤也



**問** コミュニティバスのさらなる利便性向上のため、地区の範囲を超えたルートの再構築が必要では。  
**答** 交通ネットワークの再構築を総合的に検討しており、地域にとって最適な路線となるよう進めていきたい。

**問** 不登校児童生徒が社会的に自立できるように支援する子どもの自立サポートセンター「ホープ」の成果は。  
**答** 令和5年度の利用者27人の内、19人が学校に完全復帰、または時々登校できるようになった。

**問** 本年7月1日の豪雨により多くの被害が出たが、今後の対策は。  
**答** 雨に強いまちづくりビジョンの各地区整備の前倒しに加え、道路冠水を感じし、デジタルサイネージで注意喚起を行う冠水情報システムの新設や排水ポンプ車の購入を行う。



冠水した田熊地区の道路



### 止水板設置補助制度の検討を 日本共産党／新留 久味子

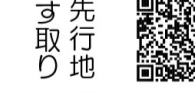


**問** 浸水冠水リスク軽減のために止水板設置補助制度の検討ができないか。  
**答** 効果的な設置方法の検証も含め、先行自治体の事例を調査する。

**問** トヨタ式学校働き方改革に懸念の声上がる  
**問** 事業の導入経緯と具体的な事業内容は。  
**答** 教育委員会が働き方改革モデル事業案を立案し、市内各学校に説明と参加募集を行った上で、協力学校を選定した。トヨタ自動車九州から業務改善に関する技術的な支援を受け、教員が担う事務的業務を見直す。  
**問** 教職員の働き方改革のために今後どのような施策が予定しているか。  
**答** 景観悪化などの問題が想定されるメガソーラーは補助対象外。売電目的のものではなく、自家消費型の設備が対象である。



### 持続可能なまちと環境づくりを 未来むなかた／上野 崇之



**問** SDGs 未来都市として目標達成に向け、市民や民間事業者との連携を促進させる必要があるが、市の方針は。  
**答** 市のまちづくりに対する共感を広げ、地域課題に取り組みとす人々や資金の流れを生み出し、まちの持続可能性につなぐことが重要である。

**問** 国の脱炭素先行地域の採択を目指す取り組みの状況は。  
**答** 再生エネ由来の電力供給への誘因策や電力供給会社の確保が難しく断念したが、営農型太陽光発電やため池水太陽光発電などが評価され、重点対策加速化事業の採択を受けた。年内には住宅や事業所などに太陽光発電や蓄電池の導入に対する補助の実施を予定している。



### 超高齢社会での公共交通の課題 公明党／石松 和敏



**問** コミュニティバスを現在の定時・定路線ではなく大幅に見直すことは可能か。  
**答** 買い取り物や通院に利用しやすい運行形態に変えることは可能。今後、南郷地区コミュニティ運営協議会と一緒に検討をしていきたい。

**問** 今後、西鉄バスは一部路線を廃止する方針があるが、地域の公共交通の再構築は、路線バスの廃止も見据えながら代替交通手段をどう確保していくのか、買い物難民をいかに救うのかを念頭に置いて解決すべき重要かつ喫緊の問題であるとして認識している。



南郷地区のコミュニティバス



うな施策が必要か。  
**答** 学校行事や業務の精選、教科担任制や外部人材の活用促進、学校DXの推進による作業負担の軽減など、さまざまな改善が必要。事業の予算は、100万円である。

令和6年 第3回 宗像市議会定例会

賛否が分かれた議案名と議決結果 (○：賛成した人 ◆：反対した人)

Table with columns for 議案番号, 議案名, 議員氏名, 議決結果. Lists various resolutions and their outcomes.

※神谷建一議長には、賛成・反対の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

意見書

2件の意見書を可決し、国に提出しました。

自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書 (全員賛成で可決)

(要旨)

地方公共団体では、加齢に伴う身体機能や認知機能の低下により運転に不安を感じている高齢運転者や、交通事故を心配する家族や周辺の方々から多数の相談が寄せられているなどの理由により、運転免許証の自主返納の取り組みが進められている。一方で、免許証を返納した後の高齢者の移動手段の確保がより大きな課題となっている。

よって、政府に対して、全ての地方公共団体が高齢運転者の免許証返納を安心して推進することができるよう、次の事項の取り組み推進を強く求める。

学校給食費を無償化するための恒久的な財政措置を求める意見書 (全員賛成で可決)

(要旨)

政府は、令和5年6月に定めた「子ども未来戦略方針」の中で、「学校給食費の無償化の実現に向けて、まず、学校給食費の無償化を実施する自治体における取り組み実態や成果・課題の調査を速やかに進め、1年以内にその結果を公表する。その上で、中学校の給食実施状況の違いや法制面なども含め課題の整理を丁寧に行い、具体的方策を検討する。」としており、全国一律での小中学校の学校給食費無償化を早期に決定していく必要がある。

現行「健康保険証」廃止の撤回を求める意見書 (賛成少数で否決)

(要旨)

マイナンバーカードに健康保険証機能を持たせた「マイナ保険証」への移行を目指すため、令和6年12月2日に現行の健康保険証は廃止されることが決定している。マイナンバーカードを巡る

の開発促進とともに、遠隔操作システムの導入を含めた行政における利活用の仕組みの検討など、自動運転車両の実用化に向けた環境整備を加速させること。

ては、これまでさまざまな問題が続出しており、とりわけ「マイナ保険証」に関しては、保険証情報を誤って他人のマイナンバーにひも付けていた事実が多数判明するなど、国民の健康や生命に重大な影響を及ぼす恐れのある深刻な問題が次々と顕在化している。「マイナ保険証」に対する国民の疑問や不安が解消されないまま、現行「健康保険証」の廃止が決定されたことで、国民皆保険制度の根幹が揺らぐこととしている。

よって、政府に対し、次に掲げる2点について強く要望する。

▼マイナンバーカードと一体化された「マイナ保険証」への移行は、任意の申請に基づくとこの原則を明確にすること。

▼現行「健康保険証」を令和6年12月2日に廃止する措置を撤回し、現行「健康保険証」を存続させること。

主な意見

●現行の健康保険証の廃止が決まった過程の記録が残っておらず、そうした中決まった法律に従うことに疑問を感じざるを得ない。現場では混乱が生じており、問題解決に時間をかけるべきである。

●国が決めたことに自治体が従うべきというのは、地方の自治を尊重する地方自治法の精神に反する。マイナ保険証の利用率は低く、国の強引な誘導によって医療機関、薬局ではさまざまなトラブルが発生している。

反対者の意見

●IT、DXの世界において、日本はアジアの中で先頭を切れるよう自治体に指導し、自治体はそれに基いてマイナ保険証の普及をしていく必要がある。

編集後記

コロナ禍や物価高に生活が翻弄される中、今期の4年間があったという間に経過しました。4年前の当選で議会活動を初めて経験しましたが、宗像市議会は会派や主張は違っても「仲良く、なれ合わず」の良質な議会だと感じます。お一人でも多くの市民に議会の中身が分かりやすく届けられるよう、これからも頑張っていきます。(川内亮)



(後列左から) 北崎委員・上野委員・石田委員・木藤委員 (前列左から) 川内副会長・石松修部会長

委員会レポート

各常任委員会では、所管する事業の関連団体や事業者と意見交換を行いました。意見交換会の報告書はホームページに掲載していますのでご覧ください。

Table with columns: 委員会, 日にち, テーマ, 関連する事業者との意見交換会. Lists committee reports and meetings.

議員辞職と副議長の交代

吉田剛副議長から、一身上の都合により議員辞職願が提出され、令和6年9月26日の本会議において同日付での辞職が許可されました。また、10月31日までの後任として岡本陽子議員が副議長に就任しました。なお、11月以降の新たな議会構成については、12月に発行するむなかた市議会だよりでお知らせします。

12月 定例会の日程

Table with columns: 日程, 内容. Lists the agenda for the December regular session.

※1 予算第1…一般会計 ※2 予算第2…特別会計・企業会計
▼一般質問の内容は、開会3日前に議会ホームページに掲載します。
▼請願の提出締切日は11月27日(水)です。
▼本会議と委員会は、ホームページで中継しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。
※日程・内容などが変更になる場合があります。傍聴などの際は事前にホームページで確認するか議会事務局へお問い合わせください。

市議会のくわしい情報や議会中継はホームページをご覧ください。お問い合わせは 議会事務局へ TEL 0940(36)1119

宗像市議会 検索



発行/宗像市議会 編集/議会広報編集部
〒811-3492福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
TEL 0940-36-1119 FAX 0940-36-8591

ホームページ二次元コード→